

神籬

ひもろぎ

神道のしきたり



神籬は神霊が宿る依り代的一种です。

古来、山や木、岩などに神様が宿っていると信じ、信仰の対象とされてきました。

古代の神道では社殿に神様を祀るのではなく、祭りの時々に神様を招

いて執り行っていました。その際に神様をお招きするため巨木の周囲に玉垣をめぐるせ、注連縄で囲うことで神聖を保ち、古くはその場所が神籬と呼ばれました。

現代では神社や神棚がない場所で祭祀を行う際、臨時に設けられます。

その他に依り代として代表的のものとして挙げられるものとして磐座があります。神籬と磐座の大きな違いは、移動できるかできないかであり、移動できる神籬は地鎮祭などの祭場で舗設されます。



祭典暦 令和8年2月

1	日	10:00	旬祭	本殿
		11:00	初午祭	境内末社
3	火	10:00	節分祭	本殿
10	火	10:00	旬祭	本殿
		11:00	沖恵美酒神社月次祭	境内末社
11	水祝	10:00	紀元祭・榎原神宮遥拜式	本殿・祓所
14	土	10:00	初住吉祭	境内末社
17	火	11:00	祈年祭	本殿
20	金	10:00	旬祭	本殿
23	月祝	10:00	天長祭	本殿



や え これ い
已むことを得ざる之を誠と謂ふ

やまがそう せいきょうよろく
—山鹿素行『聖教要録』より



元びす宮 総本社

西宮神社

〒662-0974 兵庫県西宮市杜家町1-17
TEL 0798-33-0321 FAX 0798-33-5355
<https://nishinomiya-ebisu.com>

Follow Me

 西宮神社 公式 Instagram
@nishinomiya_ebisu_official



「福」をお届け

福の字には多くの書体があり、個性豊かなものが数多く存在します。
月毎に表紙で紹介し、皆様に福をお届けいたします。



西宮神社 2月行事ご案内



令和八年二月

特別
祈禱

えびすさまの招福厄除祭 福まいり

特別祈禱料
10,000円
より

えびすさまの大前にて、福まいり（えびすさまの招福厄除祭）のご祈禱をお受けになれますと、福をお受け頂くことにより降りかかる災厄が祓い除かれます。

新しき年が無事安泰で実り多き年となりますよう上記の期間に「特別祈禱福まいり～えびすさまの招福厄除祭～」を執り行いますのでどうぞご参拝下さい。



▲ご家庭の厄難を祓い清める
「えびすさまの御幣」

期間

令和8年
1月31日(土)～2月8日(日)

場所
時間

祈禱殿
9:00～16:30

郵送によるご祈禱を承ります

ご遠方にお住まいの方など諸事情によりご参拝の叶わない方には、郵送によるお申込みを承っております。

お電話を頂ければ申し込み用紙をお送り致します。

お申し込み Tel 0798-33-0321

郵送祈禱 令和8年2月8日(日)まで

直会

1月31日(土)・2月8日(日)に「特別祈禱 福まいり」のご祈禱を受けられた方には、神社会館にて直会料理をお召し上がりいただきます。

1/31(土) 先着 150名

福よせ御碗 | 六英堂

2/8(日) 先着 120名

清白御膳 | 神社会館



清白御膳内容
白いもの尽くし
・鯛昆布締め
・風呂吹き大根
・白和え
・かす汁
・べつたら漬け
・白飯

初午祭 (神明神社例祭)

2/1(日) 11:00 斎行



当社の境内末社である神明神社は豊受比女神と稲荷神を合祀しているため、2月の最初の午の日である「初午」を例祭日としました。

初午の日は、和銅4年(711)2月のこの日に稲荷神が初めて三ヶ峰(稲荷山)に降臨されたことに因むもので、このことが稲荷神社の総本社である伏見稲荷大社の鎮座の由来ともなっており、全国の稲荷神社では特に重要な日として祭事がおこなわれています。

本年は、1日午前11時より神明神社例祭を斎行致します。

提灯・幟奉納募集

提灯/1灯
16,500円

幟/1枚
5,000円

節分祭

2/3(火) 10:00 斎行



▲福餅の配布

一年を24に分ける節気のうち四季の節目を指す立春・立夏・立秋・立冬など、季節の改まる前日のことを節分と呼びましたが、特に冬(陰)から春(陽)に移り変わる立春が節気による正月節として重視されたため、一般的には立春の前日を節分と呼んでいます。

この日は、一年間の無事を祈る行事が各地でおこなわれます。当社では、3日午前10時より氏子・崇敬者各位の除災招福を祈願する節分祭を斎行致します。当日は授与所にて節分札(初穂料500円)を特別に授与し、午後5時からは拝殿前にて古札のお焚き上げを行い、福餅を配布致します。



▲節分札

